

事務事業評価シート(平成22年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
08201	文化財保護事業	教育委員会	文化係	向山 光	福島 永
		一次評価年月日	平成 22 年 6 月 2 日	連絡先(内線)	2504
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ(会計区分・事業コード・事業名)	会計区分	事業コード	事業名(歳出予算見積書)	
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	1067	文化財保護事業		
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	#N/A			
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	章 (コード選択)	5章	まなび合う社会の創造	
		節 (コード選択)	3節	地方分権化に積極的に対応する	
		項[基本施策] (コード選択)	531	文化遺産の保護と伝承	
主な取り組み (コード選択)		5311	文化財の保護		
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第四次行財政改革大綱 <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 <input type="checkbox"/> 主要業務報告 <input type="checkbox"/> その他				
事務期間	(開始) 年度 ~ (終了予定) 年度	開始時期不明 <input type="checkbox"/> 終期設定なし <input type="checkbox"/>			

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。) [Plan2]

①対象(〜に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

・辰野町の住民 ・特に町の未来を担う子どもたち ・辰野町を訪れる人

②目的(意図)(〜という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういった状態にしたいのですか。

文化遺産は自分たちで守るということを認識し、地域の誇れる文化財を保護・活用し、未来に伝えることを積極的に進める。

③手段(事業内容)(〜を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 小野宿問屋を定期的に公開し、所蔵文書等を利用して講座を開催する。また、保存会による環境整備を行う。
- 文化財を研修や、校外活動の場として提供する。
- 文化財保護保存団体を支援する。
- 『辰野町誌』編纂時の史料を整理し、公開できるように整える。

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。 [Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度			
		21年度	22年度	22年度	達成率	22	年度(見込み)		
①	指標名	小野宿問屋の公開と講座の開催		日	16	16	16	1.00	16
	説明	定例公開(第2日曜日)、春夏秋冬特別公開、公民館講座の実施日数		目標値設定の根拠	冬期間を除く月1回の公開と夏期間の連続8日間の特別公開及び公民館講座を開催して公開見学の機会を確保する。				
②	指標名	指定文化財の公開日数		日	14	15	15	1.00	15
	説明	見学者の申請により特別に公開した日数		目標値設定の根拠	学習や研修活動を目的とした特別公開の申請に対応して公開見学の機会を確保する。				

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。 [Do2]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度			
		21年度	22年度	22年度	達成率	22	年度(見込み)		
①	指標名	小野宿問屋の公開と講座の参加人数		人	229	250	288	0.87	250
	説明	定例公開(第2日曜日)、春夏秋冬特別公開、公民館講座の参加人数		目標値設定の根拠					
②	指標名	指定文化財の定例公開日以外に訪れた人数		人	321	610	350	1.74	610
	説明	定められた公開日以外に申請により訪れた人数		目標値設定の根拠	地域の伝統文化を認識し、文化遺産に誇りをもてる人を増やす。				

(5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法

決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+②	(千円)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度										
		決算	決算	決算	見込み										
対前年比	%	8,226	9,167	13,194	10,705										
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)		11	2,310	20	20										
B) 一般財源(税金)		8,215	6,857	13,174	10,685										
①事業費	(千円)	2,302	1,662	2,945	2,500										
対前年比	%		72.2	177.2	84.9										
②人件費の概算	(千円)	5,924	7,505	10,249	8,205										
対前年比	%		126.7	136.6	80.1										
		課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費					
		H21 H22 H23	H21 H22 H23	H21 H22 H23	H21 H22 H23	H20 H21 H22 H23	/	/	/	/					
町職員(正規職員)		0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.79 0.62 0.41	0.12 0.79 0.79	0.66 0.92 1.41	1.21	5,924	7,505	10,249	8,205				
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート										0	0	0	0

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	B	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない しだれ栗森林公園事業、埋蔵文化財整理活用事業、美術館運営事業
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している C 把握していない 活動会員の声 文化財保護審議会

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

平成17年度に小野宿問屋保存会発足、平成18年度より会員による冬期間を除く月1回の定例公開、春夏秋冬の特別公開、夏季講座、環境整備活動を実施。見学者への説明も保存会が行っている。また、会員の知識を深めるための研修も実施した。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

教育委員会事務局が、文化財保護保存団体を支援し、文化遺産の保護・保存・公開・活用を図る。

23年度予算見積書への反映 あり なし

[反映内容]

小野宿問屋保存会、辰野町石造物調査会、小野のシダレグリ自生地保全友の会への委託料

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

地域の誇れる文化財を保護・活用し、未来に伝えるために、ボランティア活動や公民館活動を通じて文化遺産への理解を深める。

上位の施策の推進に貢献していますか。 をチェック

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止



上記 a~e を選択